（様式２・中学校用①）

令和４年度　学　校　評　価　報　告

草加市立新田中学校
（令和５年　２月２０作成）

１　学校教育目標

豊かな心と　学ぶ意欲をもち　広い世界で　たくましく生きる生徒

・基礎・基本の確実な定着
・積極的な生徒指導の推進
・「特別の教科　道徳」の充実
・生徒を主体とした特別活動の推進
・教職員の負担軽減及び健康管理
・教員の授業力向上
・居場所がある環境づくり
・健康教育・安全教育の推進
・服務規律の確保

２　重点目標・努力目標

子どもが誇りを持てる学校に

・教師ひとりひとりの授業力向上
・集団活動を通した豊かな人間性の育成
・共感的な人間関係の育成
・教育環境の整備
・本年度の研究発表を控えた研究の推進

３　前年度の成果と課題

成果
○研究発表を成功させることができた。
○職員の協力で設備改善や情報機器の活用など教育環境を改善することができた。

課題
●教師の授業力、指導力の更なる向上。

４　評価表 ※評価基準〔Ａ：十分達成している　Ｂ：おおむね達成している　Ｃ：やや不十分である　Ｄ：不十分である〕

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題　○成果　●課題
Ⅰ　学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○校務分掌の見直しを行い、職員の負担感の偏りを是正することができた。 ●校務分掌の更なる見直しと役割分担を明確にする必要がある。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○研究発表に向け、充実した研修を行うことができた。 ●研究発表に向けた研修が中心だった。今後は、個々の指導力を高められるような研修を行う。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○防災学習の取組はとても有意義な学習であった。 ○健康管理や保健指導が的確に行われた。 ●災害時の避難経路の見直しが必要。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○個人情報などは適切に管理することができた。 ○施設設備の不備な個所は素早く改善することができた。 ●情報管理などを年度当初に必ず全職員で再確認する必要がある。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会の推進 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○体育祭や授業参観を実施することができ、昨年度より学校の様子や子どもの活動を伝えることができた。 ●授業参観は１回のみで、学校公開など数回の実施ができなかった。
	⑥幼保小中を 一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じたカリキュラムの編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○本年度は研究発表もあり、教員間の交流は活発であった。 ●児童・生徒の直接的な交流がもっとあっても良かった。 ●教科ごとの小中連携があるともっとよかった。

（様式２・中学校用②）

草加市立新田中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題　○成果　●課題
Ⅱ　教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	・15年間を通じたカリキュラムの編成、実施 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 ・目標、方針の周知 ・授業時数の配当、確保	B	○教育目標、教育活動などに教職員一丸となって取り組み、ほぼ目標達成することができた。 ●授業時間の配当にばらつきや不足することがあった。
	②教科指導	・指導計画の立案 ・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ・評価、評定の工夫 ・外部人材の活用	B	○教科指導について、授業は十分な準備のもと熱意ある指導を展開することができた。 ●教科書が変わり、教材研究が十分ではない内容もあった。
	③道徳教育	・全体計画の作成 ・各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・いのちの教育の推進	B	○道徳教育推進教員を中心に全体で研修するなど道徳教育を進めることができた。 ●他の教科と同じように道徳の時間の確保しなければいけないという意識を高める。
	④特別活動	・指導計画の立案 ・学級活動、学級経営 ・学校行事 ・生徒会活動	B	○行事への取り組みなどおおむね計画通りに実施することができた。 ●学年や学級での活動の時間がやや不足していた。
	⑤「総合的な学習の時間」の指導	・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 ・地域の人材・物的資源の活用	B	○行事の準備などの活動として子供たちが意欲的に取り組むことができた。 ●時間の確保と行事以外の取り組みができるよう計画の見直しが必要。
	⑥生徒指導	・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、生徒理解 ・いじめ防止対策 ・保護者、地域、諸機関との連携	B	○問題事案に対して迅速に対応できた。 ●年度当初に生徒指導の基本（話の聞き方、生徒への話し方　等）について研修を行い、個々の教師の指導力を高める。
	⑦キャリア教育	・組織的なキャリア教育 ・指導方法の工夫と改善 ・啓発的経験の充実 ・進路情報の収集・活用 ・職場体験活動	A	○職場体験の代案として「キッザニア」を活用し一定の効果を上げることができた。 ○２年生では上級学校調べで高校の先生方を招き、充実した学びをすることができた。 ●これまでの方法にとらわれないキャリア教育の方法を検討する必要がある。
	⑧特別支援教育	・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備	B	○個に応じた指導ができた。 ○諸機関との連携を積極的に行うことができた。 ●通常学級との交流が少なかった。
	⑨学校図書館教育	・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫	A	○図書室が適切に管理され、貸出冊数も増えた。 ●図書室の蔵書の見直しと読書スペース確保が必要。
	⑩情報教育	・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ＩＣＴ機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進	B	○タブレットなど情報機器を活用することができる職員が増えた。 ●タブレットの使用機会が増えたので、情報モラル教育を計画的に実施する必要がある。
	⑪人権教育	・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実	B	○人権教育は各教科、領域で適切に行われている。 ●人権教育の研修をもっと充実させる必要がある。

（様式２・中学校用③）

草加市立新田中学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題　○成果　●課題
Ⅲ特色ある学校づくり	中学校区の 幼保小中の連携	・中学校区の家庭学習取組 ・いじめ撲滅運動 ・スマイルサポーターの取組 ・相互授業研究会の機会 ・乗り入れ授業の充実	B	○幼保小中の作品交流は欠かさず行うことができた。 ●スマイルサポーター活動などをもっと積極的に連携していけたらよい。
	教育相談	・相談員やスクールカウンセラーとの連携 ・生徒に寄り添った適切な指導	A	○相談員やスクールカウンセラーを中心に職員一丸となって適切な指導と対応を行うことができた。 ●QUの結果を活用し、不登校や集団不適応の可能性がある生徒への対応に役立てる。

5　総合評価（学校関係者評価を含む）

・学校評価の評価項目の評価は、職員の評価、保護者の評価のどちらも「十分達成している」と「おおむね達成している」の合計が全体の９０％以上であったことから全体としては良好な評価であった。特に保健指導、キャリア教育、教育相談ではすべてが「達成している」という評価だった。
・ICTなどの活用が進み、昨年度よりも多くの授業で活用する場面や職員が多くなった。
・校務分掌を見直し教職員の負担軽減を実施することができた。
・テストの採点に採点システムを取り入れることによって職員の負担軽減となり好評だった。
・新型コロナウイルス蔓延防止対策のため昨年度までは多くの行事が削られ変更になってきた。これまでの行事の取り組み方を伝える生徒、教職員が減ったことで準備などの時間が多くかかってしまった。その時間を作り出すために予定以上の授業時間を使うことになってしまった。

6　次年度の改善策

・ICT機器の効果的活用をさらに進め、効率よく学習効果を高める方法や教職員の負担軽減の方法を検討していく。
・「地域との連携」や「開かれた学校」のために、学校公開や授業参観などを積極的に行う。
・行事の見直しと授業時間の確保。
・生徒指導や教育相談を適切に進めるために学校と家庭との連携を密にする。
・幼保小中の連携はよく行われていたが、取り組んでいる様子がわかりにくいところがあり全体としての取り組み方や役割分担を見直していく必要がある。